

資料2

1	委員名	<p>「愛」</p> <p>故郷の山・海・川・町・祭りとかの伝統文化への愛、親子や夫婦、友達や仲間、隣人などという人への愛、様々な愛が育まれる村上市であってほしい。生きていることを「嬉しい」と思える村上市であってほしい。</p>	<p>「自然の恵み」</p> <p>「豊かな自然」</p> <p>「次世代の子供たちに繋ぐまち 村上市」</p>	<p>「海・山・川」→豊かな水が育む「四季」</p>	<p>①（歴史が育んだ）地球の恵み。</p> <p>【①理由】</p> <p>今の子供たちが大人になったとき、どんな世の中になっていくかを考えました。これからはグローバル化、国際化がすすみ、世界がとて身近になると思います。村上だけの目線ではなく、世界の一部として存在していること、将来村上を出てもふるさとである村上は自分が生まれたところであり、自分のルーツは村上にあるという目線で見るという視点で考えました。世界中どこにいても自然はあり、将来それを目にしたときにふるさとを想ってくればという風にも考えました。また、自然にはリラックス効果もあり、気持ちが落ち着き心の健康にも役立つので、精神的に安定感のある人材育成にもつながります。歴史が育んだと加えることで伝統産業も自然の恵みを受けていることが伝えられ同時に命の源であるという事も含められると考え、この言葉を選びました。</p> <p>② 個性と調和</p> <p>③ 働く</p>	<p>私たちが（人として生きるうえで）最後に求めるものは「戻るべき場所」。新村上市にはいつでもそういうものがあるように願い、行動していきたいというメッセーを盛り込みたい。特に、3. 11大震災を経た今、このようなことは重く、関心を寄せられるテーマだと思う。</p> <p>「生きるよろこび」</p> <p>「自然」</p> <p>「循環」</p>	<p>「笑う」</p> <p>笑う門には福来る、とあるように笑うは人の幸せ、自分の幸せ、すべてが豊かになりますよという思いを込めて。</p> <p>「人」</p> <p>すべては人とのつながりで始まります、一人じゃないんだよ！手を取り合って。</p> <p>「伝統、技、匠」</p> <p>絶やしてはならないもの、風土が生んだ文化や伝統を守り伝えたい。</p> <p>「自然」</p> <p>提言で使用するなど。</p> <p>「産業」</p> <p>広い視点で学ぶ。</p> <p>「文化や郷土愛」</p> <p>技匠伝統につながる。</p> <p>「人」＝「人情」、「豊かな心」、「つながり」、「笑い」</p>
3	村上市のシンボル	<p>合併した全エリアを象徴できる物や場所とかは想像できない。物でなく、精神的な象徴となる言葉を考えてはどうか？</p>	<p>「鮭」</p> <p>鮭、酒、人情の中にもある「鮭」は、すべての旧市町村でも共通。昔からの鮭文化がある。</p>	<p>特定の（一つの）ものに絞ら込むことは難しい。（地域が特定されてしまう）共通キーワードである海、山、川を取り入れてはどうか。</p>	<p>思いつかない</p>		<p>「山川海」</p> <p>…この言葉はどれにも入っている言葉。鮭は生まれたところへ戻ってくる習性があるそれを村上市民に例えるなど（しかし「鮭」と明記してよいのか？）</p> <p>例：私たちは、山川海へとつながる村上市の市民ですなど。</p> <p>例：私たちの村上市は、太陽が山から昇り、海へと沈む村上市の市民ですとか？？</p>
4	文章スタイル	<p>2. 前文+箇条書きスタイル</p> <p>詩のタイプは斬新な感じで良いと思うが、焦点がぼけそうな気がする。前文があり、その後に箇条書きするタイプが分かりやすいと思う。ただし、前文との関係でストーリーを感じられるようにもっていきたい。老若男女が親しみやすい形はどれでしょう？言葉がそうなれば、形はどうあれ、親しめるものではないだろうか？</p>	<p>1. フリースタイル</p> <p>新潟市のようなスタイルで進めた方が良いと思います。大変かもしれませんが、今後、ずっと残るものなので…</p>	<p>2. 前文+箇条書きスタイル</p> <p>「前文+箇条書きスタイル」が望ましい。シンプルだが広域な村上市にはしっくり合う。</p>	<p>2. 前文+箇条書きスタイル</p> <p>3. 箇条書きシンプルスタイル</p> <p>資料の2か3が今のところなじみやすい気がします。</p>	<p>2. 前文+箇条書きスタイル</p> <p>このスタイルが最も良いと思うが、1番の詩のような文章、フリースタイルも作りこんで完成すれば、素晴らしいものになると思う。3番は物足りない感じもする。4番は作成にあまり縛りが出てくるし、旧村上地区以外の人にとって頭文字が「むらかみし」だと不公平に感じるかもしれない。5番の場合、少し難しくなるかもしれないが、若者たちに浸透しやすい市民憲章になるかもしれない。なお、箇条文で作る場合は、5箇条だけでなく、覚えやすいよう4箇条や3箇条にすることも考えてみるべき。</p>	<p>3. 箇条書きシンプルスタイル</p> <p>違和感がなく、どこにでもあるスタイル</p> <p>5. 合言葉、掛け声スタイル</p> <p>ぱっとみて、オツと思えるどこにもないスタイルで面白い。</p> <p>3番と5番のコラボレーションが面白そう。</p>
	その他						

1	委員名						
	市民憲章に入れたい言葉や思い、理念など	<p>「安心」 「住んでよかった」 「子供達やお年寄りが安心して暮らせるまち」</p>	<p>「未来」 「希望」 「故郷」 「学ぶ」 「自然」</p> <p>○未来を担う子どもたちの成長を願い、次世代の子供や若者に対するメッセージでありたい。 ○子供でも言える市民憲章としたい。 ○新村上市になったことから、旧市町村の地域に伝わる伝統、文化芸術、歴史生活などわからないことが多くあることから「学」を意味合に含みたい。</p>	<p>「希望」 「故郷」</p>	<p>◎大切に作る心 … 「人」、「自然」、「郷土愛」 ◎受け継ぐ心 … 「技」、「文化」 ◎支え合う心 … 「家族」、「地域」 ◎信じる心 … 「夢」、「新たな一歩」</p>	<p>「尊ぶ」 「敬う」 自然を守るという表現は、人間の驕りを感じています。 人間も自然の一部分と言う謙虚な気持ちは、人生観にも通ずると思いません。</p>	<p>自然環境 歴史的文化 良識と創意</p>
	3 村上市のシンボル	<p>「海、山、川」、「人情」</p>	<p>「豊かな自然」 「鮭」</p>	<p>「美しい田園風景」 「清流」</p>	<p>市の木(ブナ) 花(ハマナス) 鳥(クマタカ) ※あまり知られていないので、敢えて取り上げてもよいかと思えます。</p>	<p>「鮭」でしょうか。 旧村上というイメージが強いかもしれませんが、単なる食材、製品(塩引き)という意味だけでなく、思い入れがあるものだと思います。</p>	<p>特になし</p>
	4 文章スタイル	<p>3. 箇条書きシンプルスタイル</p> <p>内容が同じものを長い文章で書くよりも、子どもたちにもわかりやすく理解しやすい言葉でシンプルにまとめた方がよいと思う。</p>	<p>第1候補 「5. 合言葉、掛け声」 第2候補 「2. 全文+箇条書き」</p>	<p>1. フリースタイル 2. 前文+箇条書き</p> <p>小千谷や魚沼市のスタイルが良いのではないかな？</p>	<p>1. フリースタイル</p> <p>前回の審議会で高橋健也委員からの提案の中にあつた『成人式で唱和する』に賛成です。 成人式だけでなく、色々な場面で口ずさめるように節をつけたり、曲をつけたりすることで子供から高齢者まで浸透しやすくなると思います。『飾り物』になることだけは避けたいです。</p>	<p>2. 前文と箇条書きスタイル</p> <p>あまり長くない前文と箇条書きスタイルが、良いと思っています。 前文の前に四字熟語を入れたいと思います。 適当なものが思い浮かびませんが、例えば、「温故知新」。</p>	<p>2. 前文+箇条書きスタイル</p>
	その他						